

観察した鳥類チェックリスト（分類表記は鳥類目録第8版に従う）

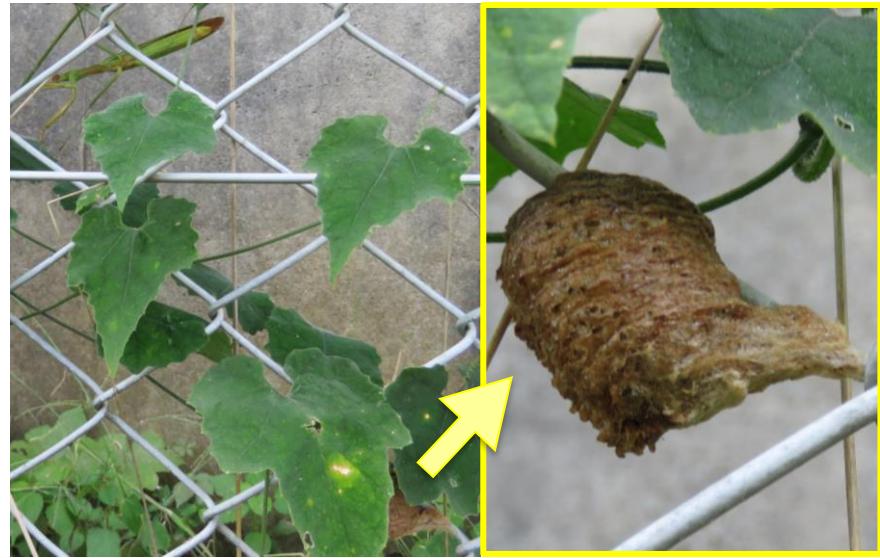
★カモ目	★ツル目	★ハヤブサ目	・ヒタキ科
・カモ科	□ クイナ	・ハヤブサ科	□ ジョウビタキ
□ オカヨシガモ	□ ヒクイナ	□ チョウゲンボウ	・スズメ科
□ ヨシガモ	□ バン	□ ハヤブサ	□ スズメ
□ ヒドリガモ	□ オオバン	★スズメ目	・セキレイ科
□ マガモ	★チドリ目	・モズ科	□ キセキレイ
□ カルガモ	・チドリ科	□ モズ	□ ハクセキレイ
□ ハシビロガモ	□ タゲリ	・カラス科	□ セグロセキレイ
□ オナガガモ	□ ムナグロ	□ カケス	□ タヒバリ
□ コガモ	□ コチドリ	□ オナガ	・アトリ科
□ ホシハジロ	・セイタカシギ科	□ ハシボソガラス	□ カワラヒワ
□ キンクロハジロ	□ セイタカシギ	□ ハシブトガラス	□ アトリ
□ ミコアイサ	・シギ科	・シジュウカラ科	□ ウソ
★キジ目	□ タシギ	□ ヤマガラ	□ シメ
・キジ科	□ イソシギ	□ シジュウカラ	□ コイカル
□ キジ	・タマシギ科	・ヒバリ科	・ホオジロ科
★カツブリ目	□ タマシギ	□ ヒバリ	□ ホオジロ
・カツブリ科	・カモメ科	ツバメ科	□ カシラダカ
□ カツブリ	□ ユリカモメ	□ ツバメ	□ アオジ
□ カンムリカツブリ	□ セグロカモメ	・ヒヨドリ科	□ オオジュリン
□ ミミカツブリ	□ オオセグロカモメ	□ ヒヨドリ	□
□ ハジロカツブリ	★タカ目	・ウグイス科	□
★ハト目	・ミサゴ科	□ ウグイス	□
・ハト科	□ ミサゴ	・エナガ科	□
□ キジバト	・タカ科	□ エナガ	□
★カツオドリ目	□ トビ	・メジロ科	(外来種や家禽)
□ カワウ	□ チュウヒ	□ メジロ	□ コブハクチョウ
★ペリカン目	□ ツミ	・ヨシキリ科	□ パリケン
・サギ科	□ ハイタカ	□ オオヨシキリ	□ ガチョウ
□ ヨシゴイ	□ オオタカ	・セッカ科	□ アヒル
□ ゴイサギ	□ ノスリ	□ セッカ	□ ドバト
□ アマサギ	★ブッポウソウ目	・ムクドリ科	
□ アオサギ	・カワセミ科	□ ムクドリ	
□ ダイサギ	□ カワセミ	・ツグミ科	
□ チュウサギ	★キツツキ目	□ シロハラ	
□ コサギ	・キツツキ科	□ アカハラ	
	□ コゲラ	□ ツグミ	

このパンフレット持参で
てがたん参加者の方は
当日、博物館入館無料です

【1月のテーマ】

命のタイムカプセル

案内人： 岩本 二郎（鳥の博物館学芸員）



▲葉の陰に産みつけられたオオカマキリの卵嚢と産卵後のメス（左上）。

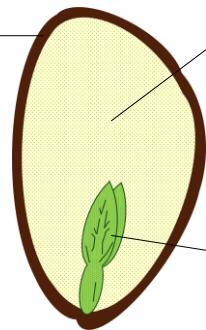
カマキリは卵で越冬し、春になるとたくさんの幼虫がいっせいに孵化します。生きものたちの中には、成長にあまり適さない時期をまるでタイムカプセルのような状態で過ごします。今回は春を待つ生きものたちを探してみましょう。

2026年1月10日（土）

種子の内部 一カキを例にー

しゅひ
種皮

種子の中身を保護するための硬い殻。動物の胃の中でも消化液に溶かされずに残ることがあるので、一部の種子は糞に混じって出てくることができる。



はいにゅう
胚乳

休眠状態からさめた後で、成長するために使う栄養分。デンプンなどのエネルギーが貯蔵されている。

はい

胚

休眠からさめた後で、植物の体になつてゆく部分。

休眠期間が一冬より長いもの

まいどしゅし
埋土種子

土の中には成長に適した環境になるまで待ち続けている種子があります。手賀沼では掘削工事で土中から種子が発芽し、ガシャモク等の絶滅した水草が復活することがあります。

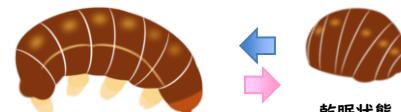


かんそうらん かんみん
乾燥卵・乾眠

動物の中には、乾燥すると水が戻るまで長期間、待ち続けられるものがいます。ホウネンエビは乾燥状態の卵を水に入れるとふ化します。また、クマムシは「乾眠」状態になることで、乾燥などの過酷な条件に耐えられることが知られています。



▲ ホウネンエビ



▲ クマムシの乾眠のイメージ図

越冬中の危険 ー蓄えられた栄養を利用する天敵ー

種子の中身を食べる鳥

くちばしが太くて噛む力の強いアトリ科の鳥は、種皮をペンチのようにさみつぶして種子の中身を食べます。また、胃の筋肉が発達しており（筋胃）、さらにすりつぶして中の栄養を吸収することができます。



▲ イロハモミジの種子をつぶすシメ

さなぎや卵を食べる鳥

キツツキの鋭いくちばしは、木に穴をあけるとともに、硬い殻を突き破ることにも適しています。



▲ ガの繭（左）とカマキリの卵嚢（右）を食べるコゲラ

▲ ガシャモク